

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【公表番号】特表2004-506550(P2004-506550A)

【公表日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-521030(P2002-521030)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

B 6 5 D 65/40 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/30 D

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月10日(2008.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

T F E および V D F モノマーと共重合できるその他のモノマーとしては、ヘキサフルオロプロピレン(H F P)、オレフィンモノマー、および完全フッ素化(過フッ素化)(per fluorinated)されたアルキルまたはアルコキシビニルエーテルモノマー(例えば0.1~5重量%範囲の量で)が挙げられる。有用な1種のフルオロプラスチックとしては、0.1~15重量%(好ましくは10~15重量%)のV D F、60~85重量%のT F E、および10~30重量%のH F Pから誘導される共重合した単位が挙げられる。加工を容易にするために、フルオロプラスチックは多様式の分子量分布を有しても良い。